

## 自転車利用実態定点調査報告(A地点)

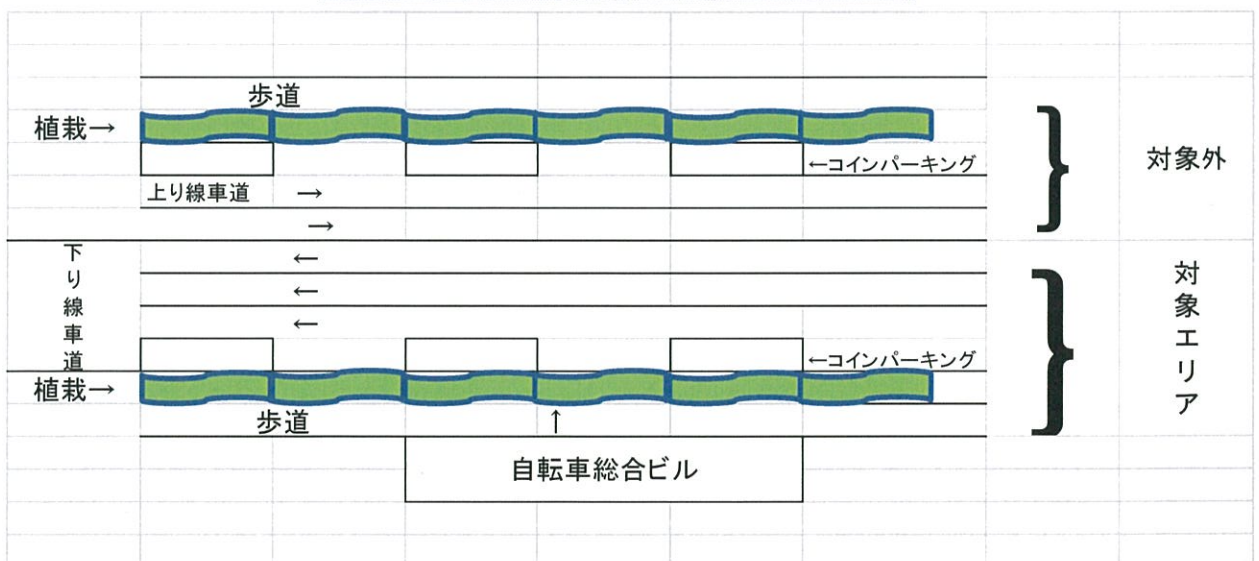
平成28年11月

(一財)日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年10月5日～31日  
[午前]9:00～10:00、[午後] 14:00～15:00

**調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に 50m 程緩い下り坂）  
**概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り 3 車線[内側 1 車線駐車帯])  
(歩道:幅員 5m・植栽 1.5m～2mのため、実質通行幅 3m～3.5m)  
・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り 2 車線[内側 1 車線駐車帯]及び上り歩道)



**調査事項** 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

	走行空間				車種		雨天		危険運転行為							
	歩道走行	歩道右側	歩道中央	歩道	子乗せ	乗動	雨	雪	抜粋	携帯無線	スピード出しすぎ	片手運転	立ち漕ぎ	ハンドルに荷物	過積載	その他
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																

調査日時：	平成 年 月 日 ( )
天気：	風速：
調査時間：	～

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、11～34%と多岐にわたるが、平均すると21%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の75%を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為等(違反行為を含む)は、肩に荷物(171件)・ハンドルに荷物(88件)・片手運転(85件/内10件は、携帯電話を使用しながらの運転)・車道右側走行(39件)・立ち漕ぎ(30件)・子乗せ後部席に荷物掛け(\*1)(26件)・過積載(35件)・歩道上でのスピードの出しすぎ/脇見運転(各21件)・ジグザグ運転(9件)等の順となっている。

\*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

## 【総合】

今回は、平成 28 年度第 7 回目の調査となり、平成 28 年 4～10 月分の 7 カ月期間の様々な点で比較してみた。

- ・利用者別                    今回も、午前が午後の利用者を上回った。
  
- ・車道左側走行率            今回(20.9%)は、前回(20.4%)と同様の水準である。  
                                  なお、午前 (19.9%)は、前回(19.5%)と同様の水準である。  
                                  また、午後 (22.0%)は、前回 (21.5%)と同様の水準である。
  
- ・子乗せ自転車              今回(28.8%)は、前回 (24.9%)の 1.2 倍の水準である。  
                                  なお、同自転車における同乗者ありの場合でのヘルメット着用率は、  
                                  76%(週平均は、70～82%の範囲で推移)である。  
                                  今回(76%)は、前回(77.0%)と同様の水準である。
  
- ・電動自転車                今回(39.2%)は、前回(40.0%)と同様の水準である。
  
- ・危険運転行為              上位 3 件別では、[肩に荷物・ハンドルに荷物・片手運転] の順  
(違反行為を含む)            であり、期間中の共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物である。  
                                  一方、下位 3 件別では、[歩道上でのスピードの出しすぎ・脇見  
                                  運転・ジグザグ運転] の順であり、期間中の共通項目は、3 項目全  
                                  てが該当している。

なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(530 件)の約 5 割(259 件)を占める形となった。

(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

また、利用者全体(1095 名)における危険運転行為等(違反行為を含み 530 件)の比率は、45%(\*2 )となっている。

\*2 実際は、1 名で複数の危険運転行為等を実施している件(40 件)も含まれるため

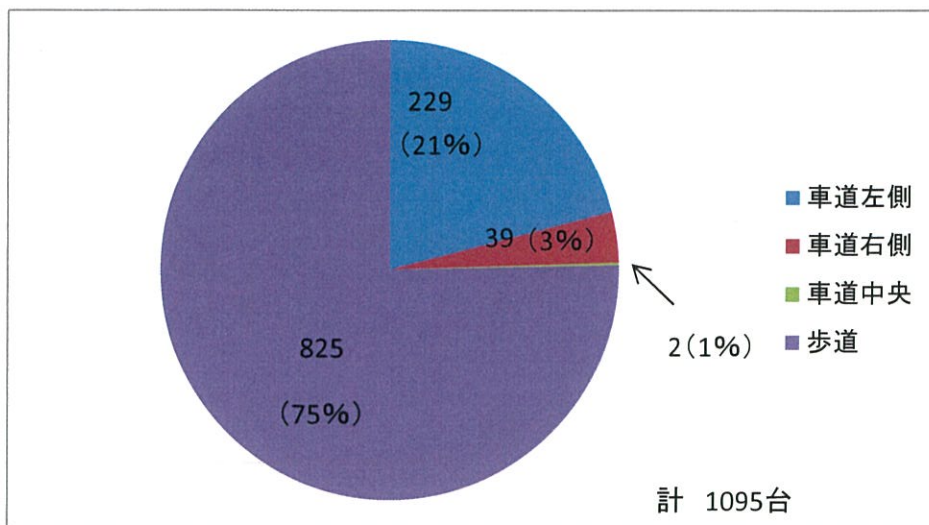
今回は、新たな危険運転行為として、荷台に傘を直置きが発生した。  
何れも危険性が高いので、止めるべき行為である。

今回の雨天時のデータは、傘さし運転者(計 5 人)に対し、合羽着用者(計 16 人)で  
3 倍となっている。

調査期間は、2 日間であった。

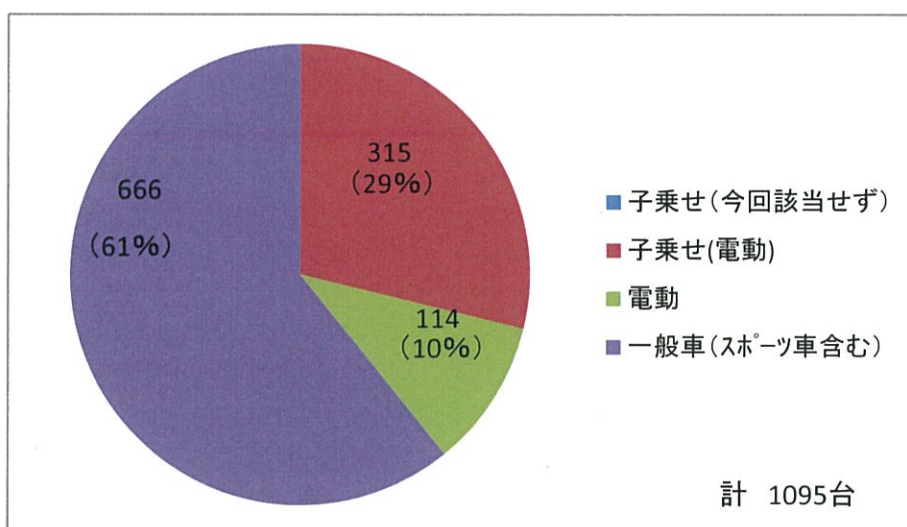
単に傘さし運転者が少なかったという理由でなく、雨天時には、合羽を着用するとい  
うマナーの向上の顕れであると考慮される。

\*参考として、昨年 6 月のデータでは、道路交通法が改正された初月でもあり、一  
部報道で合羽の購買額が増加した経緯もあり、調査期間 4 日間で、合羽着用者(計 25  
人)は、傘さし運転者(計 5 人)の 5 倍であった。



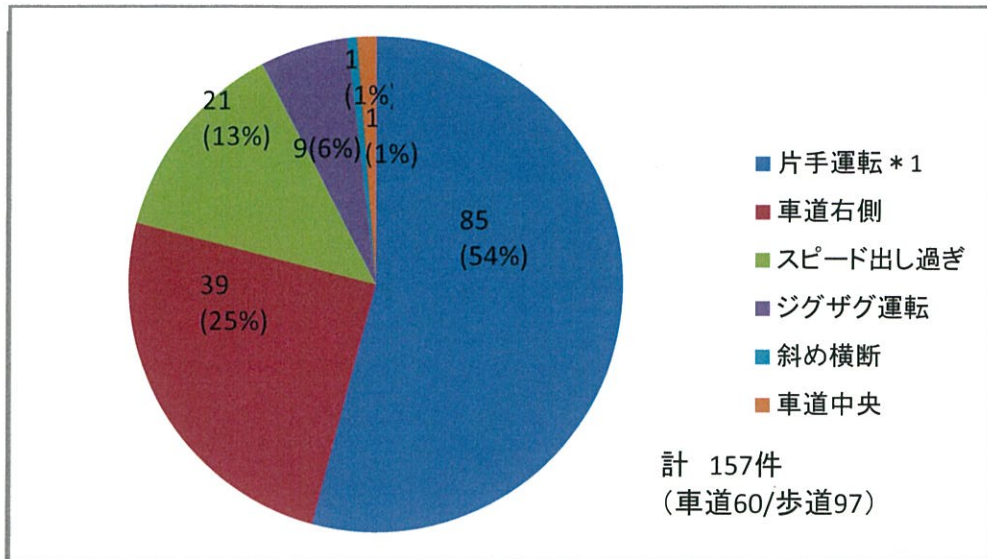
走行空間

調査期間 10/5~31



車種

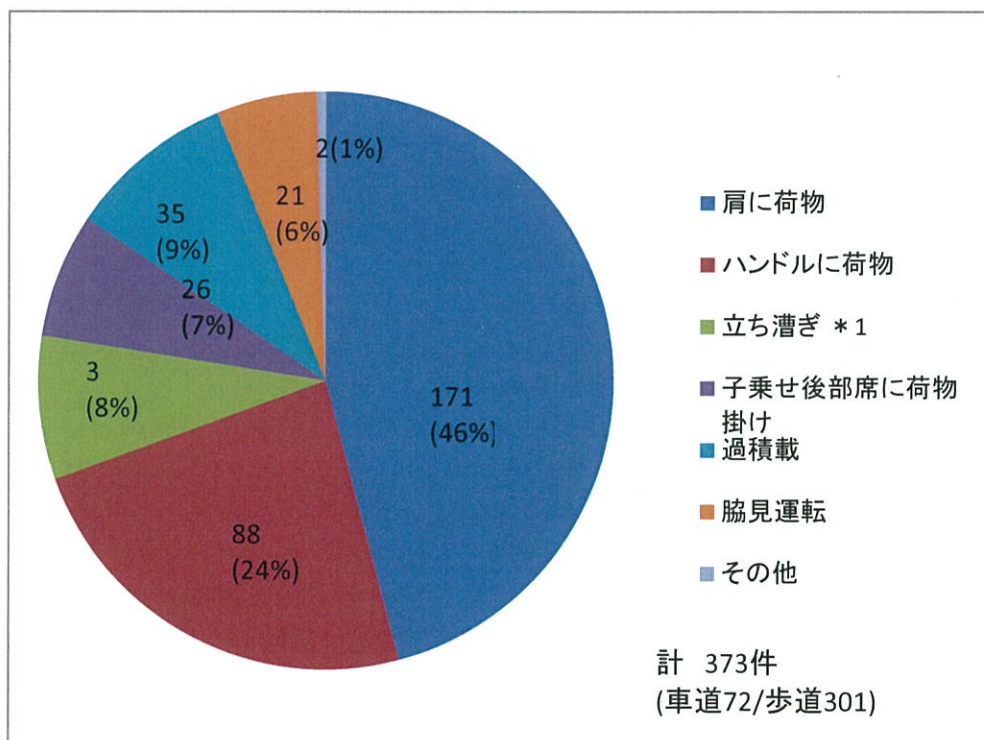
調査期間 10/5~31



違反運転行為

調査期間 10/5~31

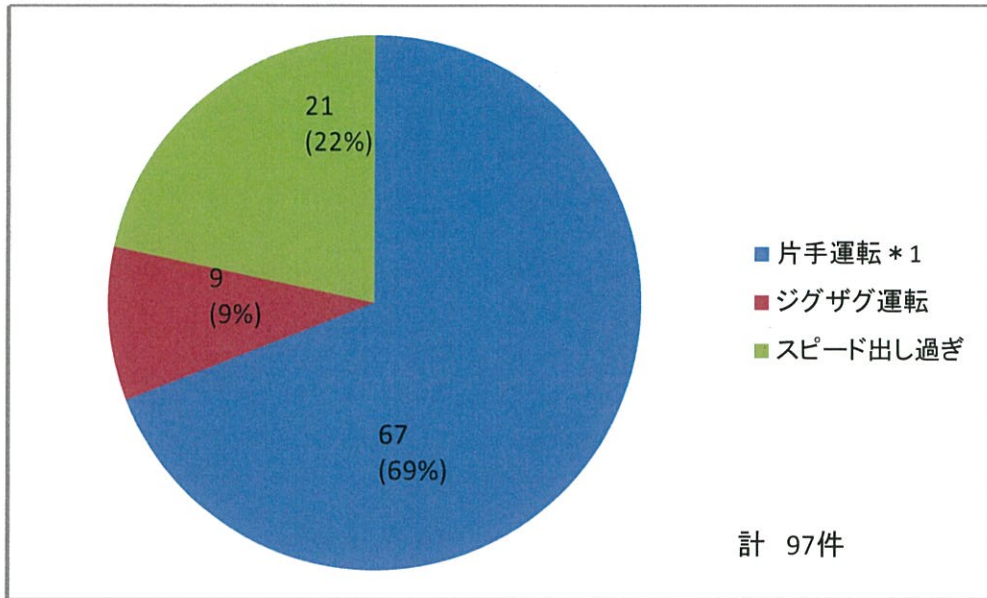
\* 1 内10件 携帯電話を使用中の運転



危険運転行為

調査期間 10/5~31

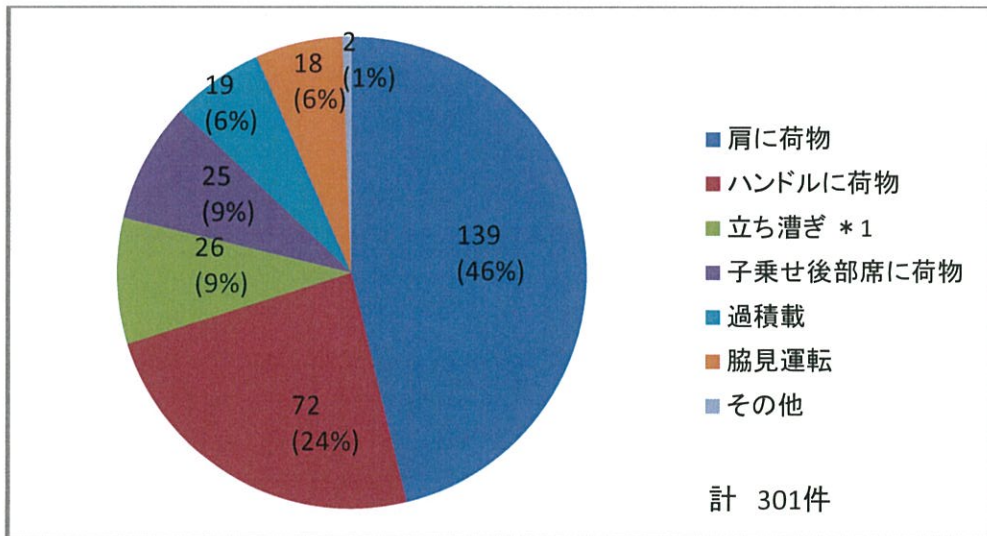
\* 1 比率内訳: 上り坂27・下り坂3



違反運転行為  
(歩道上)

調査期間 10/5~31

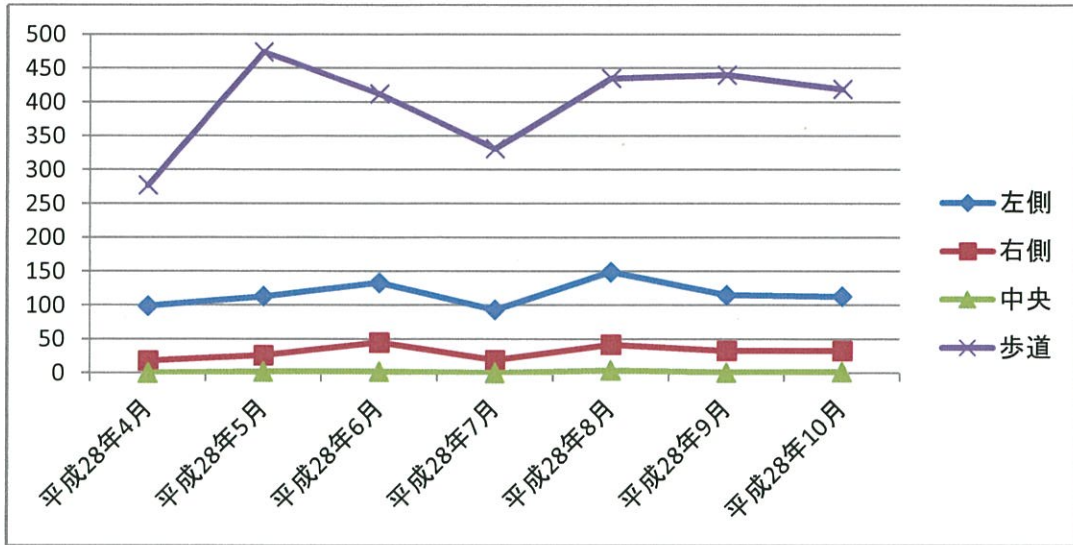
\* 1 内8件 携帯電話を使用中の運転



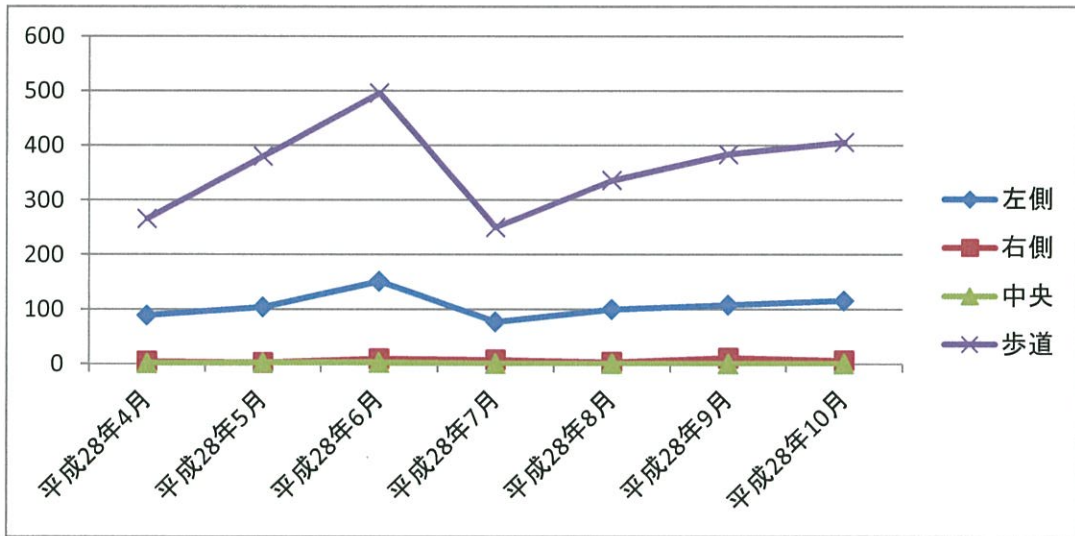
危険運転行為  
(歩道上)

調査期間 10/5~31

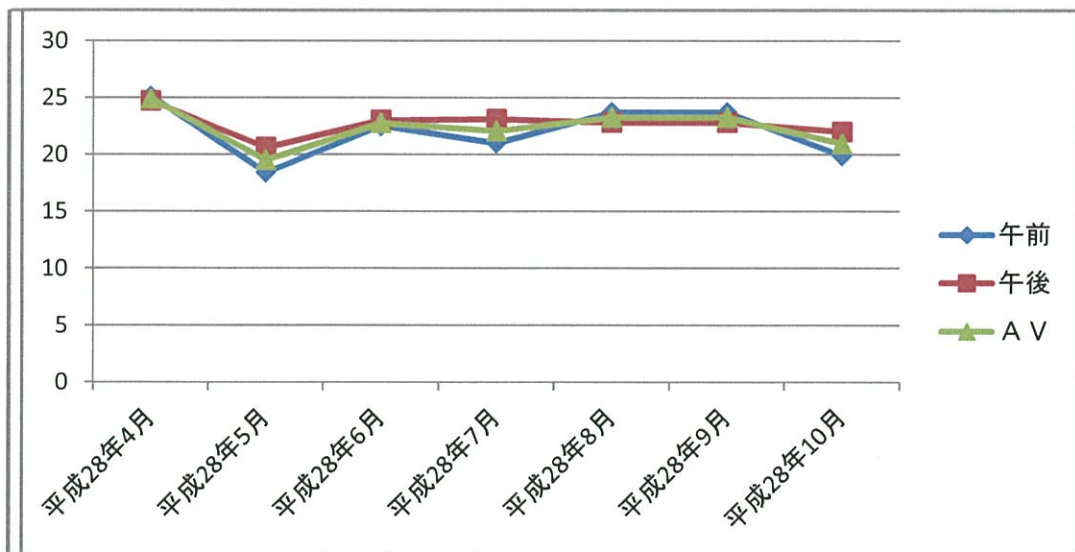
\* 1 比率内訳: 上り坂24・下り坂2



走行空間 午前 (台数)

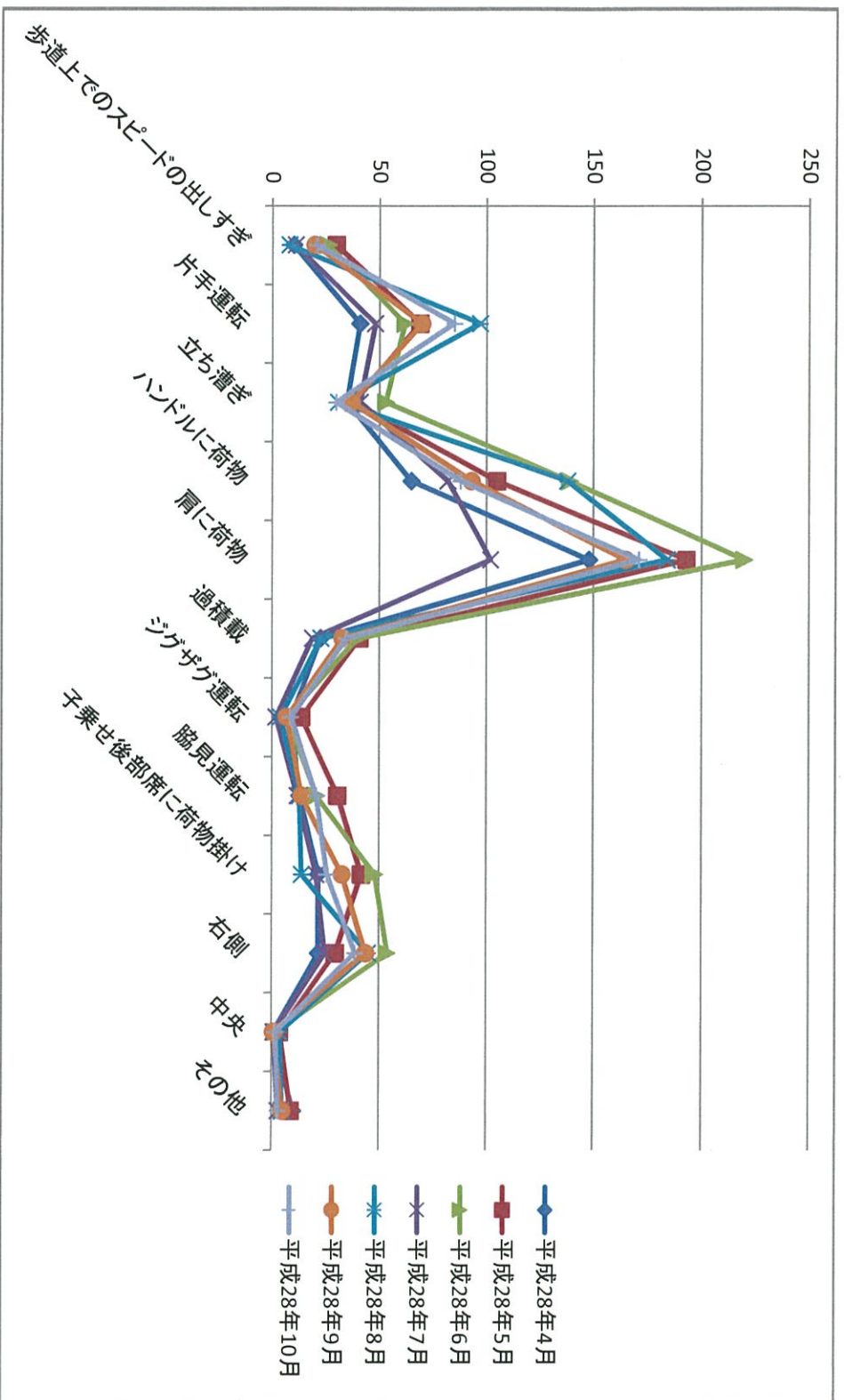


走行空間 午後 (台数)



車道左側走行率 (%)





## 自転車利用実態定点調査報告（B地点）

平成28年11月

（一財）日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年10月21日  
[午前]9:00～10:00

**調査場所** ・ 白金幼稚園前（庭園美術館西交差点（首都高速目黒線直下）から70m程の上り坂）

**概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り4車線及び歩道:幅員3.1m  
[一部歩道橋橋脚部分1.5mあり])  
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道	← }	対象外 対象 エリア
	←直進・右折レーン		
	←直進レーン		
	←左折レーン		
	←左折レーン		
	歩道	↑	
			白金幼稚園

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査票

No.	走行空間				車道	歩道	危険走行行為							
	車道左側	車道中央	歩道	その他			車道中央走行	肩に荷物	ハンドルに荷物/過積載	片手運転	立ち漕ぎ/脇見運転	その他	その他	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
21														
22														
23														
24														
25														

調査日時： 平成 22 年 月 日 時 分

調査場所： 白金 区 白金 1 丁目

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、28%であり、また、車道中央走行率は、18%であり、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の5割を占めている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、車道中央走行(13件)・肩に荷物(9件)・ハンドルに荷物/過積載(各4件)・片手運転(2件)・立ち漕ぎ/脇見運転等(各1件)/の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の10/20午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

・車道左側走行率

今回(30%)は、前回(28%)と同様の水準である。

上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・30%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・33%)と同様の水準である。

#### ・子乗せ自転車

今回(18%)は、前回(34%)の約半分の水準

上り地点(18%)に対し、下り地点(23%)と8割の水準

なお、同自転車における同乗者あり(38%)の場合でのヘルメット着用率は、100%である。

今回(100%)は、前回(100%)と同等の水準である。

さらに、ヘルメット着用率の上下線での比較として、上り地点(100%)に対し、下り地点(100%)と同等の水準

#### ・電動自転車

今回(36%)は、前回(25%)の約1.5倍の水準である。

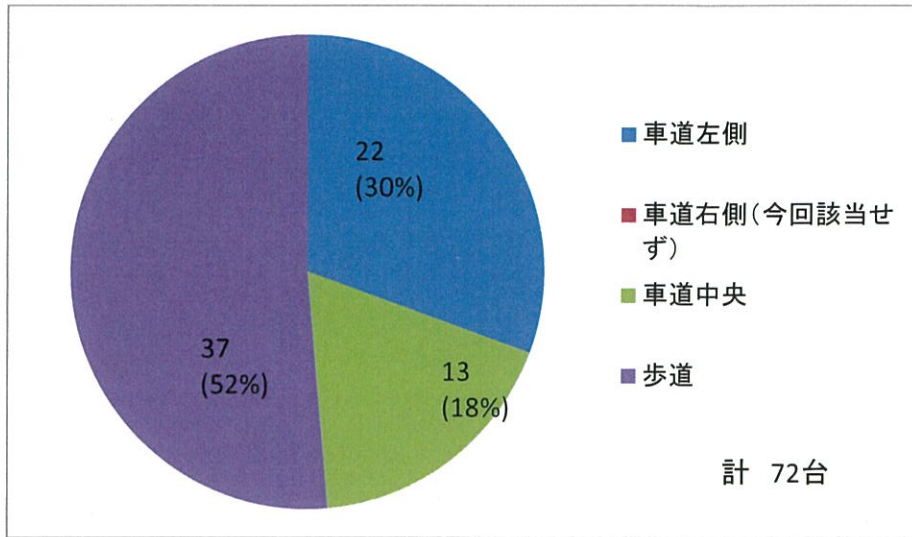
上り地点(36%)に対し、下り地点(33%)と同等の水準

・危険運転行為  
(違反行為を含む)

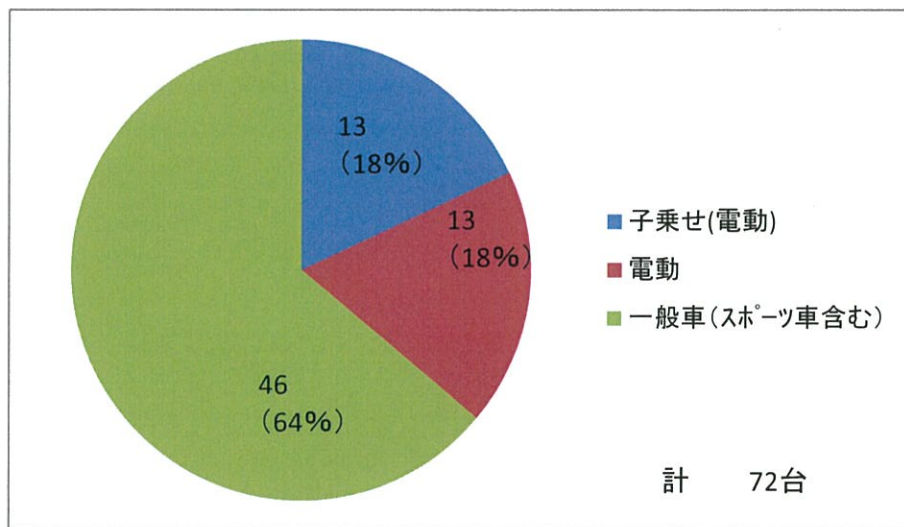
上り地点の [車道中央走行・肩に荷物・ハンドルに荷物] に対し、下り地点では [肩に荷物・片手運転・ハンドルに荷物] と、共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物の2件となっている。

なお、中央走行者については、依然として電動自転車を使用していない。

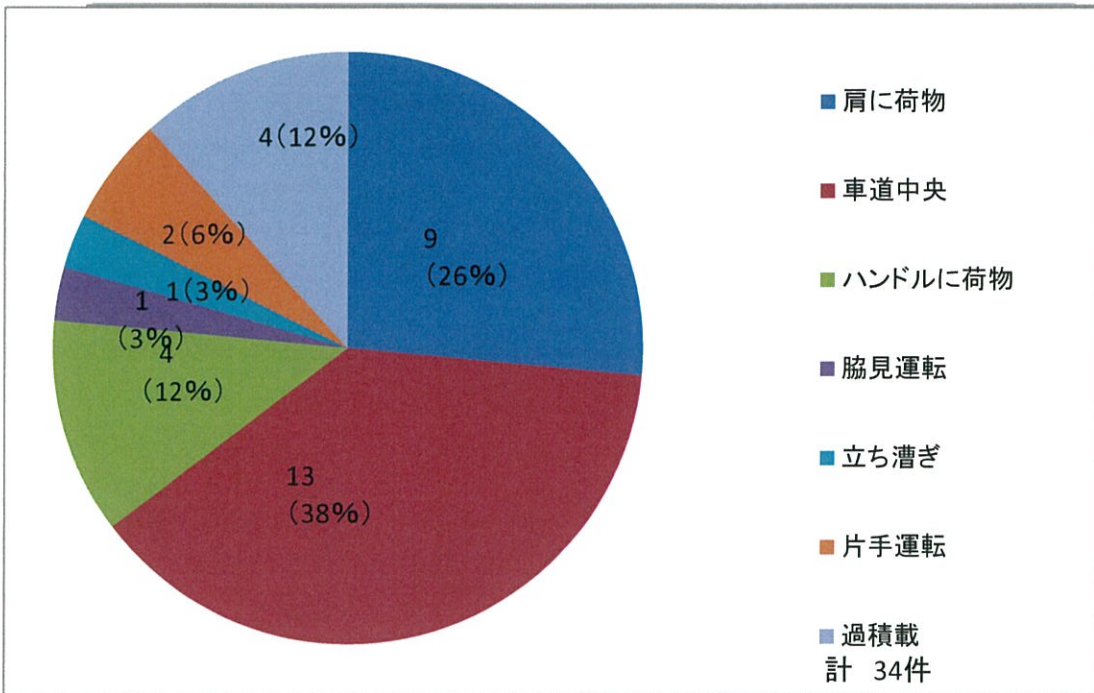
さらに、車道中央走行が多かった理由も、前回以前から同様に、上り車線先の庭園美術館西交差点において、歩行者横断帯中央にて左折道路と直進道路が分断されており、直進する利用者は、同交差点のかなり手前から道路中央を走行していたが、4車線での中間(両隣が2車線)走行のため車両に挟まれてながらと、かなり危険な走行を強いられている感が窺えた。



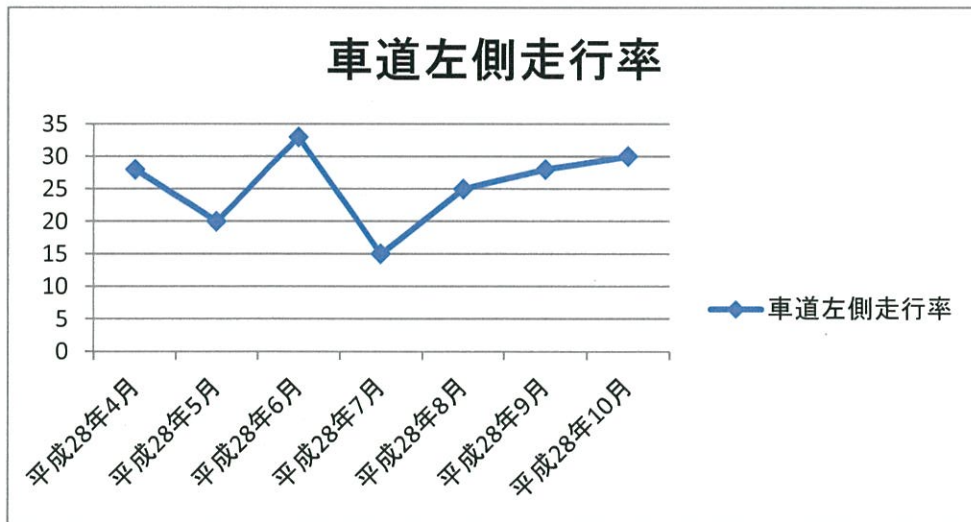
走行空間

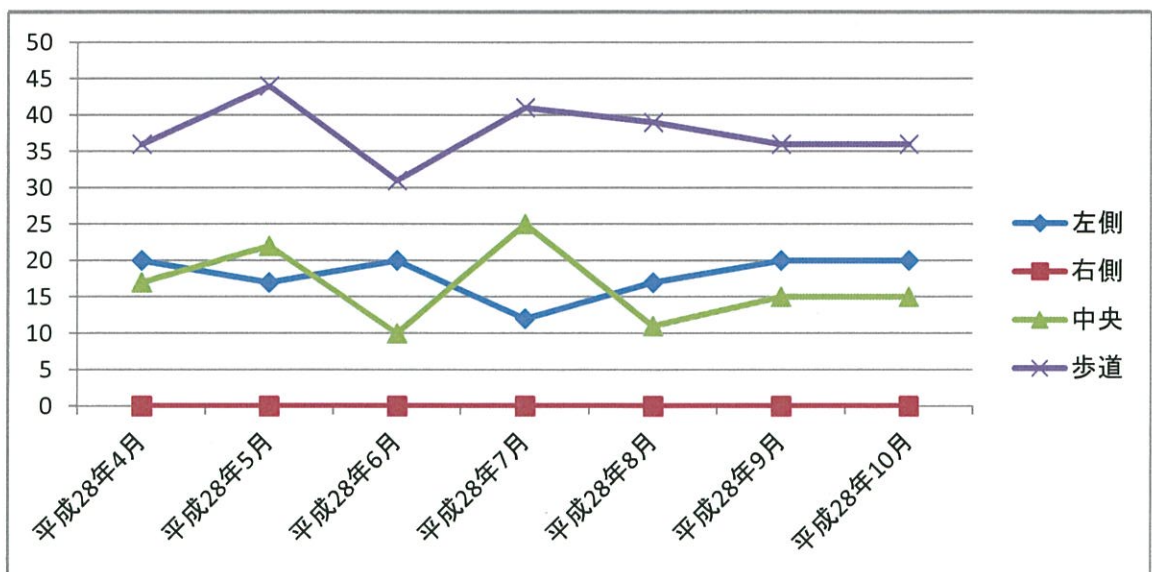


車種

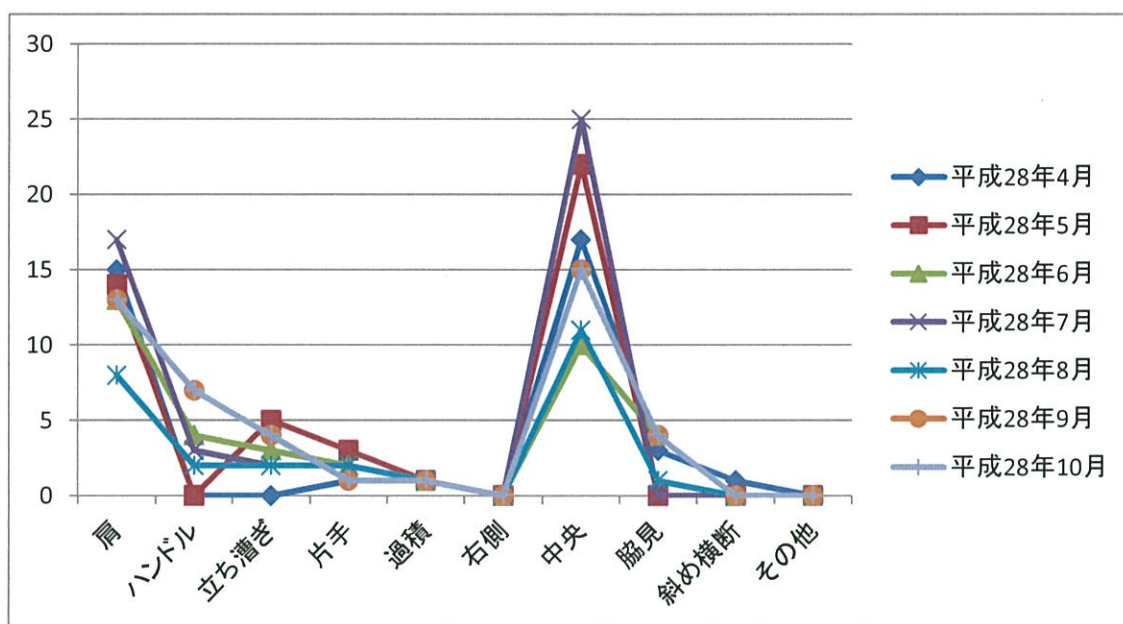


危険運転行為 (違反行為を含む)





走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)